

増刊号

広報わらび No 716

施政方針表明全文



誰もが安心して住み続けられるまち、誇りに思えるまちへ
蕨の限りない発展に向けて市政を全力で進めます。

発行：蕨市役所
蕨市中央5丁目14番15号
☎048-432-3200

URL： <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
メール： hisho@city.warabi.saitama.jp



平成23年第1回蕨市議会定例会

こうした一期末の市政運営を振り返ったときに、私は、大きくいって、4つの点で、市民の皆さんの願いに応える貴重な成果、前進があったと考えています。

まず、第1点目は、蕨駅のエレベーター設置や中学3年生までの医療費無料化など、市民の皆さんにお約束した公約、マニフェストを着実に推進し、全体として、その87%で、実施または着手することができた点です。このことは、市民の皆さんの願いに応える施策の実施という意義とともに、お約束したことをきちんと実行することを通じて、行政、政治に対する市民の皆さんの信頼を高めるといふ点でも大きな意義があったものと考えています。

第2点目は、20年度決算では3億900万円の赤字となるなど、厳しい経営状況が続いていた蕨市立病院について、21年3月に経営改革プランを策定し、各種の改革を進めた結果、21年度決算では2490万円の黒字となり、5年ぶ

りに黒字化することができた点です。22年度においても、21年度を上回る黒字の見通しとなっております。

こうした成果は、地域医療機関との連携を図る病診連携の推進など着実に改革を進めた結果でありますが、その最大の要因は、公立病院を存続、発展させるという不退転の決意で経営改革に取り組んだ点にあると考えています。

22年度の市民意識調査では、市政への重点要望の第1位が市立病院の充実となっており、引き続き、市民の皆さんの健康を守り、市民の皆さんに愛される市立病院を目指して、更なる経営改革を進めていく決意であります。

第3点目は、市民の皆さんの願いに応える施策を進めながらも、同時に、市財政の健全化に取り組み、私の市長就任以来の3年間で、一般会計、特別会計、企業会計、外郭団体である土地開発公社を含めた借金総額を約23億5000万円削減することができた点です。これは、市の管理職を



5年ぶりの黒字化を達成した蕨市立病院

19年度の112名から22年度には90名に減らし、マニフェストで掲げた市管理職の20%削減を一年前倒しで達成したことや、人事院勧告の主旨に準拠した市職員給与の削減による人件費の抑制をはじめ、大規模な都市計画事業の見直しなど、経費削減の努力を行うとともに、国や県の補助金の積極的な活用を図り大幅に増額するなど、歳出、歳入両面での努力を強めてきた結果でもあります。

第4点目は、市長タウンミーティングの開催やさまざまな行事への参加、そして、多くの市民の皆さんの参加で有

平成23年第1回蕨市議会定例会 施政方針表明全文

「あったか市政」の発展目指し 全力を尽くして市政を運営

7万市民の幸せ願い「あったかプラン」実行

本日、ここに、平成23年第1回蕨市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位には公私とも大変お忙しいなか、ご参集を賜り厚くお礼を申し上げます。今定例会は、平成23年度の当初予算をはじめとする重要な案件をご審議いただくこととなりますが、この際、私がこれからの市政運営に臨む基本的な考え方や新年度予算の編成方針、更には予算の概要と主な事業について申し上げ、議員各位並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願いする次第であります。

さて、早いもので、私が、市民の皆さんの大きなご支持をいただき、蕨市の第6代市長に就任してから、約3年9か月が経過し、このたび、4回目の予算編成を迎えました。この間、私は、7万市民の幸せと生まれ育った故郷蕨の限らない発展を目指し、市政運営にあたっていました。

とりわけ、長期政権のしがらみからの脱却で、市民に開かれた、市民に身近な市政に転換すること、大規模な都市計画事業の見直しなどムダ遣

いを一掃し、市財政の健全化を進めること、そして、連続値上げ計画を中止して、市民の暮らしを守る立場を貫くこと、こうした「3つの改革」を進めながら、地方自治体の

原点に立って、市民の暮らしを支える施策に重点を置いた「あったかプラン」を実行に移すなど、日本一のあったか市政を目指して全力を尽くしてまいりました。



議会初日に施政方針表明をする頼高市長

平成23年第1回蕨市議会定例会が2月24日から3月23日まで開かれました。今議会は、市が1年間の行政を進めるための予算を審議する議会でもあります。この増刊号では、議会初日に頼高英雄市長が述べた、今年度の施政方針の全文をご紹介します。



全5地区で開催予定の市長タウンミーティング

積極的に参加する点こそ、蕨が全国に誇るべき財産であり、蕨の市政発展の最大の原動力ではないかと確信しています。

ところで、私が市長就任以来掲げてきた「あったか市政」という言葉には、2つの思いが込められています。1つは、市民の暮らしを支える施策に重点的に取り組むということであり、もう1つは、市民の皆さんと心が通い合う市政にしたい、ということでもあります。

今日、長引く経済不況の中で、新卒者の就職難や高い失業率といった雇用の不安定化、個人所得の落ち込み、さらには地域の商店街の苦境など、市民生活は依然として厳しい状況にあります。こうした中で、市民の皆さんの暮らしを支える、あったか市政が今後、ますます求められています。

また、昨年、「無縁」社会などという言葉が聞かれるなど、地域での人と人のつながりが薄れ、地域コミュニティの崩壊が大きな社会問題となるなかで、市民の皆さんと心が通い合い、協働でつくり上げる市政こそ、これからの地方分権、自治体運営において、非常に重要な意味を持つもので

あります。

私は、こうした今日の社会経済状況を踏まえたとき、市民の暮らしを支え、心が通い合う「あったか市政」の継続、発展こそが、今、切実に求められていると確信しており、

新年度の市政運営に臨む「4つの重点方向」

さて、こうした決意に基づいて、私は、23年度の市政運営につきましては、次の4つの重点方向で臨みたいと考えています。

第1点目は、あったか市政の継続・発展を図ることです。23年度は、一期目のマニフェストである「あったかプラン」の総仕上げを行うとともに、「健康と安全」をキーワード、最優先に、各種施策の発展を図ってまいります。

まず、昨年夏の猛暑を踏まえ、子どもの学習環境の整備はもとより、子どもたちの命と健康、安全にかかわる課題として、全小学校の普通教室、特別教室へのエアコン設置事業を推進します。さらに、唯一、予防できるガンともいわれる子宮頸がんワクチン等への公費助成を国庫補助も活用

これまでの一期目の市政運営における成果の上に立ちながら、今後とも、市長として、日本一小さな蕨で日本一のあったか市政を目指し、市政運営に全力を尽くす決意を申し上げます。

また、小・中学校校舎の耐震化は、マニフェスト通り、23年度中に完了させるとともに、引き続き、全ての学校体育館の耐震化に向け、新年度は4つの小学校体育館の耐震設計を行います。

第2点目は、昨年8月に策定した「わらび地域力発揮プラン」に基づき、蕨の優れた地域力を生かし、市民の皆さんとの協働を本格的に推進することです。



全小学校の普通教室、特別教室にエアコン設置へ



銀行前で振り込め詐欺防止の啓発

加するのをはじめ、「くるる」1階と3階の旭町公民館や文化ホールの指定管理経費、塚越陸橋の補修や消防車両2台分の更新なども加わり、大幅な増額を見込んでおります。

その結果、一般会計の当初予算規模は、前年度と比べ14億8500万円多い216億3000万円となり、過去最高の規模であります。特別

「6つの改革」を進めて更に住みよくなる

それでは、次に、マニフェストで掲げた「3つの改革」と「あったかプラン」の5つの柱に沿って、主な施策について申し上げます。

まず、「3つの改革」であります。第1の改革である「長期政権のしがらみからの脱却」では、市政検証委員会の検証結果を踏まえ、今議会でご提案している22年度補正予算および23年度当初予算において、土地開発公社が保有する南町4丁目、北町2丁目、錦町3丁目の合計約280坪の土地を簿価・4億665万円で購入し、土地開発公社の更なる健全化を進めるとともに、公共施設改修基金に



くるる1階に「わらびネットワークステーション」開設

市民活動の情報発信や支援の拠点となる「わらびネットワークステーション」を蕨駅西口公共公益施設「くるる」内に開設するほか、市民参画・協働の条例制定を目指して市民懇談会を立ち上げてまいります。

第3点目は、依然として厳しい経済状況を踏まえ、蕨の活性化への取り組みを強めるとともに、国や県の補助金を活用しての緊急経済対策を講じることです。蕨の活性化、にぎわいづくりでは、蕨商工会議所や、昨年、新たに発足した蕨市にぎわいまちづくり連合会との連携を深めながら、新たな中心市街地活性化計画について国の認定を受け、計画を実行に移すとともに、優

第4点目は、以上のように、市民の皆さんの願いに応える様々な施策を実施しながらも、蕨の厳しい財政状況や蕨の将来を見据えて、引き続き、市政の健全化に取り組むことでもあります。23年度においても、予算の執行を通じて、市全体の借金は、更に削減される見通しであります。こうした市政運営の基本的

な考え方と4つの重点方向に基づいて編成しました23年度一般会計予算は、歳入では、個人所得の落ち込みにより、市税収入が前年度より1億円少ない108億円と見込み、地方交付税と臨時財政対策債の合計額は地方財政計画等を踏まえて、6億円の増額と見積もったほか、扶助費等の補助対象経費の伸びに伴う国庫支出金の増額や、22年度3月補正予算で積み増しする財政調整基金や公共施設改修基金からの繰り入れなどとなっております。

一方、歳出においては、人件費総額が減額となるものの、社会保障関連経費が大きく増

会計においては、「老人保健医療特別会計」を22年度末で廃止することから、昨年より1会計少ない6つの特別会計で、総額は152億7000万円、病院・水道の企業会計合計額は44億1311万6000円であり、以上の全会計を合わせた蕨市全体の予算総額は413億1311万6000円となりました。

4億円を積み増しし、公共施設の保全、維持管理を強めてまいります。

第2の改革である「大型開発の見直し」では、引き続き、2つの大規模な都市計画事業の見直しを進めてまいります。まず、中央第一土地区画整理事業につきましては、一昨年3月、従前の土地区画整理の手法では、莫大な財政負担を伴い、事業実施の見通しがたたないことから、土地区画整理の手法を中止し、現在の道路を生かした都市計画による新たなまちづくり手法に転換する方針を示し、この2年間、中央第一地区の新たなまちづくり整備計画の策定に向

けて、権利者の皆さんとの協議を進めてまいりました。その結果、中央第一地区の新たな整備計画案の原案がまとまり、今月20日、全体住民説明会を開催したところであります。新年度は、この原案を基に事業転換に必要な中央第一地区まちづくりプランを策定し、権利者の皆さんのご理解をいただきながら、都市計画の変更を視野に、新たなまちづくりを進めてまいります。

蔵駅西口再開発の第二、第三工区の見直しにつきまして、昨年の施政方針において示した「市負担の大幅削減」との方針に沿って、駅前広場の整備計画面積の縮小など事業の成立性を検証してきましたが、23年度は、引き続き、権利者の皆さんのご意見をお伺いしながら、施設計画の検討を行い、その実現性を検証してまいります。

第3の改革である「連統値上げ計画の中止」では、23年度も、国民健康保険税を据え置き、一般会計から国民健康保険特別会計に約12億5000万円を繰り入れ、運営の安定化を図ってまいります。なお、これからの国保財政のあ

り方につきましては、昨年10月にいただいた国保運営協議

会の答申を踏まえて、検討を進めてまいります。

「5つの柱」であったか市政の継続・発展を

続いて、「あったかプラン」につきましては、先ほど、4つの重点方向の中で申し上げた施策のほか、まず第1の柱である「安全・安心、きれいなまちづくり」では、ゲリラ豪雨など都市型水害への対策として、「わらび公園」地下に約5300立方メートルの

雨水調整池を建設します。総事業費は12億円近くに達しますが、国庫補助金や起債措置などにより財源を確保し、25



安全・安心なまちへ地域の防犯パトロール(塚越3丁目町会)

年度の完成を目指して工事に着手してまいります。なお、「わらび公園」につきましては、昨年3回にわたり地元の皆さんからお聞きしたご意見を反映させた基本計画を基に、雨水調整池の完成後、新たな公園として再整備していく予定であります。

防犯灯につきましては、すでにマニフェストで掲げた300基を超える設置を達成したところでありますが、23年度においても、町会等からの要望を踏まえ、74基分の予算を計上し、消費電力の少ないLED照明による整備を進めてまいります。



給食用食器に「エンジェルわらぶー」

内に定員64人の民間認可保育園「けやき保育園」が開設するほか、病児や病後児も対象に地域のなかで子育てを支え合う緊急サポート事業の実施に向け、そのコーディネートにNPO法人等に委託してまいります。

また、子ども達が、テレビやゲーム、携帯などのメディアと接する時間をコントロールし、減らしていく事が、子どもの健やかな成長にとって大変重要な課題となっていることから、23年度中に「蔵市アウトメディア宣言」を制定し、学校はもとより、保育園や地域、家庭において、アウトメディアの取り組みを総合的に推進してまいります。



4月開園のけやき保育園説明会(3月15日)

文化の振興では、昨年オーブンした文化ホールくるる等において、音楽コンサートや

芸能公演などを市と指定管理者が共同で開催し、身近な地域で、より質の高い芸術・文化事業を楽しめる機会を作り出していくほか、スポーツの振興では、全中学校のテニスコート改修や市民体育館のバスケットゴール更新など、生徒をはじめ、地域の皆さんが快適に運動できる環境整備を進めてまいります。

第3の柱である「高齢者・障害者をはじめ、市民誰もが健康に暮らせるまちづくり」では、高齢者の健康づくりとして、65歳以上のすべての方を対象とした「はつらつ介護予防健診」により、今後、介護が必要になる可能性のある高齢者を早期に把握するとともに、新たに民間温水プールを利用した運動機能改善コー

スを設けるなど、介護予防事業を充実させます。障害者福祉では、難病患者や関節リウマチ患者の在宅療養生活支援を拡充し、ホームヘルプサービスのほかに、短期入所サービスと日常生活用具の給付を新たに始めます。また、これまでのレスパイトサービスで行っている一時預かりに加え、民間サービス



住宅の建て替えを進めてまいります。加えて、錦町の下水道未整備地区では、地元町会の皆さんなどの要望に応え、道路パトロールの充実や排水路清掃委託の予

算拡充、U字溝の敷設替え工事等を実施し、改善を図ってまいります。

第2の柱であります「子育て支援、教育・文化・スポーツの振興」では、まず、子育て支援では、待機児童の解消に向けて、4月に、「くるる」

更に、錦町土地区画整理事業につきましては、一般会計からの繰入金を、22年度を若干上回る8億7649万円確保し、家屋移転や街路築造に加え、仮設



LED照明74基分を予算計上



介護予防事業の充実を図ります

団体を活用し、派遣による介護や送迎、外出移動等の介護サービスを行う生活サポート事業を実施し、在宅で生活する障害者と介護者への支援を充実させてまいります。

更に、総合社会福祉センターで実施しているレインボー松原、ハート松原につきましては、23年度中に、新体系への移行を行う予定であり、その中で、定員の拡大を図ってまいります。

第4の柱である「元氣な商店街、にぎわいのある蔵づくり」では、一昨年、4分の1から3分の1に引き上げた商店街街路灯電料の補助率を、更に2分の1へ引き上げるとともに、商店街活性化補助金

として、商店街街路灯のLED照明灯への改修や防犯カメラ、AEDの設置など、各商店街が行う事業に対して、補助を行います。

更に、にぎわいまちづくり連合会と連携し、一定の条件を満たした空き店舗を使つての店舗改装や開店時の広告宣伝費などに補助し、出店を支援する商店街空き店舗有効活用事業を実施いたします。

また、22年度の新規事業として実施し大きな経済効果があつた住宅リフォーム助成制度や市の制度融資の利子補給、保証料補給、更には、商工会議所が窓口となつて行っているマル経資金への利子補給などの経済対策を23年度も継続いたします。

第5の柱であります「みんなでつくる市民参加のまちづくり」では、「くるる」1階に市民活動を支援する「わらびネットワークステーション」を6月に開設いたします。

ここでは、市民活動団体やNPO、ボランティアなどへの支援をはじめ、蔵市内の市民活動や生涯学習、各種イベントなどの統一的な情報発信、市民活動に関する各種相談や

人材育成セミナーなどを、市民との協働で行うとともに、あわせて、住民票や印鑑証明の発行、現在、蕨駅前西口連絡室で行っている電話予約した住民票の時間外での受け渡し業務も行い、市民の皆さんの利便性を高めてまいります。

また、日本で一番早く実を付ける「わらびりんご」を活かしたまちづくりが地域の皆さんの手で進められておりますが、それらの取り組みの一つであるリ



「わらびりんご」の栽培を推進

7万市民の幸せと蕨の限らない発展に全力

ところで、昨年、NHK大河ドラマ「龍馬伝」が大きなブームとなりましたが、幕末の志士、坂本龍馬は、私にとっても、最も好きな、尊敬する、歴史上の人物の一人であります。私が、特に、坂本龍馬が素晴らしいと思うのは、当時、多くの幕末の志士が、徳川幕府を倒すことだけを目標としていた中で、船中八策に見られるように、徳川幕府

ンゴ栽培への支援を行います。以上が、23年度の予算編成方針並びに主な事業内容であります。

を倒した後の日本社会のビジョンを明確に持っていたこと、そして、そのビジョンの中身も、いわゆる身分制をなくして、武士も農民も商人も、いわば総力戦で、新しい日本の国づくりを進めようとしていた点にあります。

時代は違いますが、今日、日本社会は、大きな意味で時代の転換点を迎えています。国政では、先行き不透明感が

増し、閉塞感が漂っています。こうした中であって、また、こうした時代だからこそ、市民に最も身近な市町村こそ、市民としっかり結びつき、市民総力戦で、安心して住み続けられる、そして、だれもが我がまちと実感し、誇りに思える、そんな故郷づくりを進めるべき時であります。

私が、市長就任以来、進めてきた、市民の暮らしを支え、心が通い合う「あつたか市政」は、この時代の激動期、転換期にあつて、地方分権時代の要請に応え、7万市民の幸せと蕨の限らない発展につながる方向であると確信しています。こうした全国に誇れる蕨のまちづくりに、市議会の皆様をはじめ、7万蕨市民の皆さんのなお一層のご支援を心からお願ひして、私の施政方針表明といたします。ご清聴ありがとうございます。

施政方針を読まれた感想を秘書広報課(中央5-14-15) ☎433・7703 Eメール hisho@city.warabi.saitama.jp へお寄せください。

◎今議会でも

可決された議案

平成23年第1回蕨市議会定例会に市長から提出され、可決された議案は、27件です。ここでは、その議案名と改正された条例をご紹介します。

議 案 名

●一部を改正する条例

- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・蕨市職員退職手当条例の一部を改正する条例
- ・蕨市特別会計設置条例の一部を改正する条例
- ・蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・蕨市都市公園条例の一部を改正する条例
- ・蕨市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

●平成22年度補正予算

- ・蕨市一般会計補正予算(第5号)
- ・蕨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・蕨市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)

- ・蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・蕨都市計画事業錦町土地画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- ・蕨都市計画事業中央第一土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- ・蕨市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・蕨市立病院事業会計補正予算(第2号)
- ・蕨市水道事業会計補正予算(第2号)

●平成23年度当初予算

- ・蕨市一般会計予算
- ・蕨市国民健康保険特別会計予算
- ・蕨市公共下水道事業特別会計予算
- ・蕨都市計画事業錦町土地画整理事業特別会計予算
- ・蕨都市計画事業中央第一土地画整理事業特別会計予算
- ・蕨市介護保険特別会計予算
- ・蕨市後期高齢者医療特別会計予算
- ・蕨市立病院事業会計予算
- ・蕨市水道事業会計予算
- 契約案
- ・財産の取得について(消防ポンプ自動車(水IIB型))